

仏語圏アフリカコンテンツ産業視察ミッション2026

2026年11月26日（木）～27日（金）

於コートジボワール



はじめに

ジェトロは、コンテンツ産業の潜在的消費者である若年人口が大勢を占めるアフリカ大陸において、現地の市場動向や産業構造の把握、ビジネスプレイヤーとの交流を通じて、日本企業の参入機会を探ります。

今回は 11月26日（木）～27日（金）に、コートジボワールのアビジャンで開催されるオーディオビジュアル・コンテンツの国際会議「SICA 2026」に、現地政府の協力のもと、日本企業の皆様にご参加をいただき、アフリカ各国企業および公的機関との幅広い交流をご案内します。

今年で4回目となる SICA は、昨年実績（主催者発表）でアフリカ内外25カ国から政府関係者、クリエイター、アニメーター、配信メディア、プロバイダー、投資家など約300人の業界関係者、日本企業を含む約100人の講演者、2,000人を超えるとみられる参加者が一堂に会しました。

（※SICA2026について：<https://sica-abidjan.africa/>）

また今年の SICA 全体テーマは、「Content economy and cultural diplomacy: promoting the African audiovisual and film industry」と設定され、経済と文化の両面でアフリカのオーディオビジュアル・映画産業をどのように振興していくかがテーマとなっています。

SICA2026 にはアフリカ仏語圏のみならず英語圏からも業界関係者が参加する予定となっています。アフリカにおけるコンテンツ・ビジネスにご関心の日本企業におかれては、すでにご関係のある英語圏アフリカの業界ネットワーク拡充はもちろん、仏語圏アフリカの業界ネットワークの開拓、あるいは現地コンテンツ産業動向の把握にとっても良い機会となりますので、どうぞご参加をお待ちしています。

交流先企業、団体等（予定）

民間企業：

- ・ **Golden Effects Pictures, Kap Film Village & Resort（ナイジェリア）**
Golden Effects Pictures は2005年設立、ナイジェリアの著名映画監督・俳優・プロデューサーのKunle Afolayan氏が代表する映画・テレビ制作会社。Netflixとの提携を通じて、はば広い視聴者に作品を発信。KAP Film Village & Resortは2025年オープン予定のナイジェリア映画、文化、観光を融合させた新しいアミューズメント・パーク。
- ・ **Amaka Film Productions（ウガンダ）**
ウガンダの著名な映画プロデューサー・ディレクター、Léonard Amanyia氏が設立した映画制作会社。同社作品は数々の国際映画祭で受賞歴があり、またAmanyia氏はウガンダ映画祭のキュレーターとして映画の選定やコミュニケーション戦略の策定を行うほか、国際的な映画祭での審査員としての経験を有する。
- ・ **Paradise Game（コートジボワール）**
2016年設立。西アフリカの2億人の若者に向けてビデオゲームを通じて教育やエンターテインメントの提供を目指す。2019年には、西アフリカ最大のビデオゲームおよびeスポーツセンターをアビジャンに開設。以来、毎年アビジャンでビデオゲームの祭典「FEJA」を開催し、地域のゲーム開発者やプレイヤーを動員。また昨年5月にはコートジボワールでアフリカ初の「鉄拳ワールドツアー」を開催、内外200名のゲームプレイヤーと3000名を超える観客を動員。
- ・ **Juliet Ibrahim Studios / Juliet Ibrahim Foundation（ガーナ）**
ガーナ出身の女優・作家・映画監督が率いる制作会社＆財団。アフリカにおける質の高いコンテンツ経済の構築を目指す。今回、Ms. Juliet Ibrahim 本人がSICA参加予定。
- ・ **Kana Television（エチオピア）**
2015年設立、エンターテインメント番組、デジタルコンテンツ等の制作を中心に、視聴者に多様なプログラムを提供。エチオピアのエンターテインメント業界で重要な役割を果たしている。
- ・ **MTN（南アフリカ）**
アフリカ最大のモバイルネットワークオペレーター・通信サービスを展開する多国籍企業。今回、MTNコートジボワールがデジタル製品やサービスの開発とマーケティングの観点からSICAに参加。
- ・ **Afro VFX（コートジボワール/カナダ）**
アフリカの映画産業における視覚効果（VFX）と3Dアニメーション技術の教育ビジネス会社。
- ・ **3D Netinfo, DigiArt Living Lab（チュニジア）**
3D Netinfoは3Dアニメ・ゲーム等デジタル技術の教育ビジネス会社。DigiArt Living Labはデジタル・クリエイターのための民間系オープン・イノベーション・プラットフォーム。
- ・ **TV5MONDE（フランス）**
フランス語圏の国際テレビネットワークであり、ニュース、ドキュメンタリー、映画、ドラマ、アニメなど、幅広いジャンルの番組を提供。新しいコンテンツフォーマットの開発や若手クリエイターの支援にも力を入れており、今回、アフリカシリーズプログラムの開発責任者がSICA参加予定。
- ・ **SONY Music Africa（日本/フランス/コートジボワール）**
ソニーの音楽メディア部門。西アフリカ発のラップ系アーティストの国際マーケティングを展開。

公的部門：

- ・ **RTI Distribution（コートジボワール）**
コートジボワール国営放送局（RTI）の配信部門として、コートジボワール国内外での映像コンテンツ配信と商業化を推進。近年は、南アフリカの制作会社と共同でSFドラマシリーズ「Ambre」を制作、両国の若手俳優を起用し、英・仏語の両語で配信。
- ・ **ONAC-CI（コートジボワール）**
コートジボワール国立映画委員会。コートジボワールの映画文化および産業の発展を目的に、国内外の制作支援などを行う。
- ・ **National Broadcasting Commission（ナイジェリア）**
ナイジェリア国家放送委員会（NBC）。ナイジェリアにおける放送規制と管理を担当する政府機関。
- ・ **コートジボワール通信省、文化省、SICA実行委員会（コートジボワール）**
コートジボワールの通信・メディア・文化コンテンツの所轄官庁およびSICA主催団体。

募集要項

日程	2026年11月26日（木）～11月27日（金）【2日間の公式日程】 ※ 本ミッションはアビジャン集合・解散となります。 ※ また上記日程には入国日および出国日を含みませんので、実質的には4日間（日本からの参加の場合、使用フライトにより5～6日間）の日数拘束となります。 ※ 上記の公式日程期間は、商談・ネットワーキングを含めて、原則すべての予定にご参加いただきます。各社個別の行動日程は、公式日程以外でご予定願います。
募集定員	5社・10名（最少催行人数：5名） ※ 参加希望者が定員（および予定催行人数）を上回る場合、現地協力機関と相談のうえ、選考させて頂くことがあります。複数名ご登録の場合は、人数を限らせて頂く場合がありますので、予めご留意ください。
募集対象	アフリカでのコンテンツ関連ビジネス（※）の開拓に関心を有する日本企業関係者（在外日系企業、日本の大中小企業） ※ここでは映画、アニメ、音楽、ゲーム等に関連したビジネスを指します。
主催	日本貿易振興機構（ジェトロ）アビジャン事務所
参加費用	実費： ◆参加者様のご負担となる費用： ・アビジャンまでの往復航空券 ・移動費（ホテル⇄空港間） ・ホテル宿泊料（ホテルは推奨ホテルをご案内します） ・SICA2026参加費 50,000CFAフラン ・飲食代（公式行事としての交流会やレセプション等を除く） ・海外旅行保険 ・入国査証代 ・予防接種代（黄熱病予防接種／イエローカード）等 ◆ジェトロが手配・負担する費用： ・ジェトロが指定する集合場所から訪問先へ移動するための専用バスの費用 ・公式日程内の一部レセプション・食事・通訳費用 ※宿泊ホテルについては後日、推奨ホテル・予約・支払い方法等についてご連絡します。 ※SICA2026参加費についても同様に、後日支払い方法等についてご連絡します。 ※必ずジェトロからご参加確認及び催行決定の連絡を受け取った後に、航空券等の手配を開始いただくよう願います。
言語	英語、フランス語 ※フランス語には通訳を配置します。

募集要項

お申込み

以下のURLからお申込みください。

申し込み：<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/cda/contents2026>

※申し込み締切：2026年9月18日（金）23:59（日本時間/JST）

※申し込み締切後、ジェトロより参加可否のご連絡を差し上げます。

公式スケジュール（予定）

日にち	行 程
11月25日 （水）	各自アビジャン入り
11月26日 （木）	SICA2026参加（各セッションへの参加、要人面談、ネットワーキング等） 現地視察（コンテンツ関連ビジネスに取り組む現地企業への訪問を予定） ※一部の参加者にはSICAでのセッション登壇をご案内する場合があります。
11月27日 （金）	SICA2026参加（分科会参加など）、現地視察、現地政府等との交流会 現地視察（コンテンツ関連ビジネスに取り組む現地企業への訪問を予定）
11月28日 （土）	各自アビジャン発

コートジボワール渡航に際してのご案内

◆アビジャンまでのフライトについて

日本からアビジャンまでのフライトは、欧州経由、中東経由など様々なフライト会社がございますので、参加者各位にて最適のフライトをご利用ください。なお、ケニア航空は最近、頻繁な遅延、キャンセルが発生していることから、利用はお勧めしません。

◆アビジャン空港到着、帰国時の留意点、及び**黄熱病予防接種（イエローカード）の取得義務**について
入国時に黄熱病予防接種証明書（イエローカード）の提示が求められますので余裕をもってご用意ください。

◆査証について

日本国籍保有者は、コートジボワールへの**入国査証を取得する必要があります**。査証は事前にお住いの国のコートジボワール大使館や総領事館にて手続きするか（招聘状はジェトロが提供）、「e-Visa」サイトからの取得が可能です。

○<https://snedai.com/e-visa/>（※e-Visaサイト）

◆安全情報について

本ミッションを安全に遂行するため、以下の外務省 海外安全ホームページや在コートジボワール日本国大使館サイトに事前にお目通しのうえ、「たびレジ」にご登録いただき、万全な準備の上でご参加ください。

○https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_101.html#ad-image-0

○https://www.ci.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

○<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

注意事項・免責事項

※注意事項※

1. 本ミッションは、現地集合・現地解散型です。集合場所までの往復移動手段（航空券・タクシー等）の手配及び費用は参加者様のご負担になります。その他の費用詳細については、本募集案内の「参加費用」の項目を改めてご確認ください。
2. ジェトロからご参加確認及び催行決定の連絡を受け取った後に、航空券等の手配を開始いただくようお願いいたします。
3. 訪問先・視察先等及び各日のスケジュールは現時点での予定であり、変更の可能性がございます。
4. 本ミッションは原則として、ミッション公式日程の全行程へのご参加を、お申込みの条件とします。
5. 現在、反社会的勢力（反社会的勢力の定義等は、ジェトロの「反社会的勢力への対応に関する規程」）に該当せず、かつ、関係を有しないこと。また将来にわたっても反社会的勢力との関係を持つ意思がないこととお申し込みの条件とします。
6. 申し込み時にご記入いただく情報は、仏語圏アフリカコンテンツ産業視察ミッションの実施・運営、アンケート・成果把握、フォローアップ及び共催機関との成果共有のために利用します。その他の個人情報に関する点につきましては「ジェトロ個人情報保護方針」に基づいて適切にお取扱いします。
7. コートジボワールでの罹病・負傷など不測の事態に備え、費用を100%カバーし、キャッシュレスで受診できる海外旅行傷害保険への加入をお勧めいたします。アフリカでは日本と比較して治療費・入院費等が高額となるケースがあります。また、状況によっては先進国などへの移送が必要な場合もあり得ます。（国外への緊急移送は1千万円以上を要します）保険加入の際は、十分な補償（治療費用保険金）かをご確認ください。
8. ミッション期間中、メディアの取材が入る可能性がございます。
9. ミッション終了後、ジェトロが成果把握等を目的として実施するアンケートにご協力ください。

※免責事項※

1. 本ミッションが中止もしくは延期となった場合、申込者の責によらない事由により参加できなくなった場合においても、一切の経費・損害（予約されたホテル、航空券代等のキャンセル料を含みますが、これに限られません。）をジェトロが補填することはいたしかねますので、予めご了承ください。
2. 本ミッション参加中に体調不良となった場合、ジェトロは最大限のサポートはさせていただきますが、現地での感染・発症リスク、現地での治療・隔離措置等に伴う滞在期間延長またはその他の不測の事態に伴い発生する費用・損失等に関しては、一切補償できません。
3. ジェトロでは、ミッション期間中に発生した参加者に係る携行品盗難・携行品損害、疾病治療費用等につき、一切負担できかねます。



｜お問合せ
ジェトロ・アビジャン事務所（担当：ロブエ・長屋）
TEL：+225-27-20-33-29-30 Email: cda@jetro.go.jp